

糖尿病を治すんですか？

「リンゴ効果」解説

製鉄病院
セミナー



製鉄記念室蘭病院（前田 民健康セミナー）が24日、
征洋病院長）の「第20回市 室蘭市知利別町の同病院で

開かれ、参加者は、リンゴが体にもたらす役割やリンゴと糖尿病の薬との関わり、糖尿病治療の現状などについて学んだ。

山内一暁内科長が「林檎と糖尿病く新しい治療！りんごが糖尿病を治すんですか？」をテーマに解説。市民ら約180人が耳を傾けた。山内内科長は、リンゴ

「林檎と糖尿病」をテーマに解説する山内内科長

に含まれる水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の効果などを紹介。水溶性は「水分を吸収。便を軟らかくする」、不溶性は「糖質消化吸収速度低下、血糖上昇が緩やかになる」などのメリットを説明した。

糖尿病の新薬「SGLT2阻害薬」の開発史に触れ、「1985年にリンゴの木の新芽からSGLT阻害薬の原型『フロリジン』を発見」「1987年には、フロリジンによる血糖値とインスリン抵抗性改善の報告」「2014年に国内でSGLT2阻害薬を承認」などと解説。市民らも、リンゴと糖尿病治療の関係性などを学んでいた。（松岡秀宜）